

## 男女共同参画月間記念行事

## ふくいきらめきフェスティバル2012

ひとひと  
テーマ 「みつけた！女と男が輝くこの空間」

開催日：6月9日（土）会場：福井県生活学習館（ユー・アイふくい）

◆ 私の人生を振り返つて…  
私は「仕事を生涯継続する」という意念がありました。「長時間労働」と「転勤」が仕事と家庭・子育ての両立の障害で、私は何とか乗り越えましたが無理はしました。

結婚・子育て中でもキャリアアップを継続された岩田さん。退官後に資生堂に入社してからもワークライフバランス等の取組みを推進されておられます。

これからめざしたいことは「育児しながら『普通に仕事をすること』を支援すること」と話され、「仕事を引退した人は、子どもさんの子育て支援や地域の子育て支援をして、高齢期の生き方のロールモデルになってほしい。次の世代に贈れるプレゼントです。」と話をされました。

◆ 皆さんにお願いしたこと  
経営者に女性の活躍支援は雇用している人材の完全活用であり、コストはかかりません。  
管理職に女性への配慮は大きすぎて、もだめ。チャレンジできる仕事を与え、やる気を引き出してください。  
働いている女性に夢をあきらめて、仕事をやめてはいけません。次の世代の女性たちの力になつてください。

旧労働省に入省して「どんな仕事にも無駄な仕事はなく、経験することで成長できる」と、  
講師 岩田 喜美枝 氏  
(前資生堂代表取締役副社長)  
福井新聞社提供

◆ 記念講演 ●

女性はもっと活躍できる!  
自分でできること・組織ができること

講師 岩田 喜美枝 氏  
(前資生堂代表取締役副社長)

◆ 女性の活躍が必要である理由  
人材の多様性は、①市場の理解②変化への対応③新たな価値創造の決め手をはかるうえで企業の力となります。また、活躍が不十分な社員は企業にとって人材の大きな無駄遣いです。多様なよりよい人材を採用して完全活用することで、企業の持続的発展が成し遂げられます。

題字  
福井県知事 西川一誠  
第33号  
発行者  
(公財)ふくい女性財團



## お知らせ

きらめきフェスティバル2012  
奥越大会

日 時 平成24年11月18日(日)  
10:00～16:00  
ところ 勝山市民会館

## 参加者の声

講演の内容を参考にし、女性社員に対し、育成と指導をしていきたい。女性社員にやる気を持ってもらえるよう環境を整えていきたい。

## 子育ての本音トーク

未就学児を持つ4組5人のパパ＆ママとおばあちゃん世代9人の参加がありました。子育て現役の方同士の、率直な意見交換を想定していましたが、今回は先輩たちからのアドバイスが主で、若いママ達も熱心に耳を傾けていました。

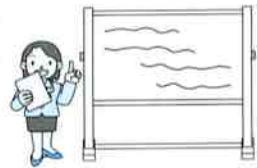


ワークショップで話された皆さんのイキイキとした生き方に感心。と同時に人生の見直しを考えた。社会人として長く同じ仕事を続けてきたがステップアップしようと、数年考えていた気持ちに刺激になった。

バタバタと過ごしている毎日の生活中で、少しの時間でもふれてみたいメニューばかりだった。男女が参加できる企画が更に充実するとよいのではないかと思った。

# ふくいきらめきフェスティバル2012

## ワークショップ



### ①「女性活躍社会・仕事と家庭の両立」

3名の立場の違うパネリストから体験談などの話をいただきながらパネルディスカッション形式で行なわれたこのワークショップには、約60名の方が参加されました。『どうしたら女性が職場でもっと生き生きと働けるのか、輝けるのか、また仕事と家庭を両立させるためにはどんな工夫が必要なのか』話の中から多くのヒントを得、気づきを得、参考に出来る部分を感じ取ることができたワークショップになったことだと思います。



### ②「ワーク・ライフ・バランス」

~さあ出番です！イクジイ・イクバア大集合～  
ふくいソフィアの会

子育て世代のワーク・ライフ・バランスを側面から支援するため、定年後の祖父母世代の人たちが自分の趣味や得意な分野を生かし「イクジイ、イクバア」として活躍している県内のロールモデルとして、3名の方から活動内容を紹介していただきました。



わが孫だけでなく、地域の子どもたちの支援をしていくことが、自分自身の健康や生きがいにもつながるとのお話を伺い、私達も今後さらに活動の輪を広げていきたいと思います。

### ③「地域コミュニティの再生は男女共同参画で！」 福井男女共同参画ネットワーク

今、国も県も男女共同参画推進の重点としている3つのテーマ①行政と市民組織の連携②地域に根ざした活動③自主的な住民活動について、パネラー5人（福井市、敦賀市、越前町の行政・地域代表）から適切で魅力ある事例が示されました。

出席者73名の熱心な話し合いを通して次の方向が確認されました。

- 地域が活動の原点
- 学びながら課題をつかんでみんなで実践へ
- 女性よ、もっと声を出し役割を担おう
- 行政と市民の協働体制を充実させよう



## 体験講座

フライパン1つで簡単料理！



男女で作るお手軽料理



涼顔メイクテクニック



絵本って楽しいな～



子どものための読み聞かせ

### 家事チャレンジ検定

フェスティバルの開催にあわせて開始された第1回家事検定を多くの皆さんに会場で受験していただきました。

男女が協力して家事を行う風土づくりのため、クイズ感覚で家事の基本的な内容について学ぶ検定です。ただいま、第2回検定を実施中。詳しくはホームページをご覧ください。

[家事チャレンジ](#) [検索](#)

## 文化講座作品展



テレビPRに出演した企画委員さん



パッチワーク作品展

### ふくい女性のつどい実行委員会 大会振り返って

「ふくいきらめきフェスティバル2012」は、各ワークショップをはじめ子育トーク、料理、美容、ヨガなどの体験講座や家族向けの企画など盛りだくさんの内容で、幅広い年代の皆様にご参加いただきました。お蔭様で盛大のうちに終えることができ、微力ながら企画委員の役割を果たすことができました。本当にありがとうございました。

## (公財)ふくい女性財団 役員等紹介

(※は新しく就任された方々です)

### 理事・監事・相談役

理事長	松田千鶴子	JA福井県女性組織協議会
副理事長	野田美智子	さかい男女共同参画ネットワーク
	海道洋子	福井県保育士会
専務理事	坪田達雄	(公財)ふくい女性財団事務局長
理事	*森阪輝次	福井県総務部長
	今富廣子	福井県生活学習館長
	下野谷定枝	(一社)ガールスカウト福井県連盟
	前川百合子	国際ソンタ福井ソンタクラブ
	齊藤博子	福井県食生活改善推進員連絡協議会
	山崎栄一	福井男女共同参画ネットワーク
	芝美代子	小浜男女共同参画ネットワーク
	*橋本勢津子	勝山市男女共同ネットワーク
	*齋藤啓子	さばえ男女共同参画ネットワーク
	長谷川淳一	越前市男女共同参画ネットワーク
	*山口賀代子	若狭女性ネットワーク
監事	三輪隆三	前福泉信用組合専務理事
	重久博子	元財ふくい女性財団副理事長
相談役	水上幸衛	前財ふくい女性財団理事長

### 評議員(五十音順)

評議員	*荒巻仁	NPO法人ババシャングル理事長
	*石森利栄	ふくい女性ネットNEXT
	*上野笑子	越前町住民課長
	*加藤まどか	福井県立大学 学術教養センター准教授
	北島三男	朝日新聞社 論説委員長
	*新道麗子	シモナ力経営事務所
	堂田英治	朝日新聞社文化振興事業団専務理事
	*西村重稀	仁愛大学 人間生活学部子ども教育学科教授

## お知らせ

### ひとひと 女と男が輝く未来塾 テーマ「女性と防災」

会場：福井県生活学習館学習室301

①10月20日(土) 13:30～15:00

災害に強いまちづくり

②12月1日(土) 13:30～16:00

24.7月水害発生！自助・共助・公助は…他

- ⑤情報収集・提供
  - ・財团機関紙「かがやく女性」年2回発行
  - ・ホームページや新聞等の広報活動
  - ・男女共同参画ポータルサイト運用
- ④配偶者暴力の防止と被害者支援
  - ・配偶者暴力被害者自立支援事業
- ③女性団体活動支援
  - ・女性団体支援事業
  - ・女性団体交流事業
- ②研修・講座、セミナーの開催
  - ・女性(ひと)と男(ひと)が輝く未来塾
  - ・男女共同参画セミナー
  - ・人材育成研修(県内6地区で順次開催)
  - ・女性のつどい事業
- ①仕事と育児の両立支援
  - ・ファミリーサービスクラブ事業
  - ・チャイルドルーム運営事業

平成20年12月から施行された国の公益法人制度改革により、5年の移行期間中に公益法人または一般法人に移行するか、移行せず解散するか選択しなければならないため、「公益財団法人」への移行を平成21年7月の理事会で決定しました。その後様々な手続き等を経て、今年3月に県から公益性の認定を得て、4月1日に公益法人に移行しました。

1 移行の理由

公益法人とこの名称を使用できることで社会的信用を得ることができ、また、公益目的事業については非課税となるなど、税制上の優遇を受けることができます。反面、今まで以上に高い公益性が求められるほか、県の厳しい指導監

2 公益法人のメリット等

公益法人とこの名称を使用できることで社会的信用を得ることができ、また、公益目的事業については非課税となるなど、税制上の優遇を受けることができます。反面、今まで以上に高い公益性が求められるほか、県の厳しい指導監

3 組織体制

理事・評議員数はこれまでと同様ですが、理事会を「業務執行機関」とする一方、評議員会を、これまでの理事の選任・解任の承認に加え、新たに定款の変更や決算等を承認する「意思決定機関」として位置付けるなど、組織を見直し、内部監督体制を強化しました。

4 今後の事業内容

これまで以上に公共性や公益性の高い財団として、加盟団体とのネットワークを活かした効果的な男女共同参画事業の展開を図つてまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 公益財団法人へ移行しました

督等を受けることになります。

## おめでとうございます

平成24年度「男女共同参画社会づくり功労者」

### ◆福井県知事表彰◆

#### 個人

川崎邦子氏(あわら市)

高田洋子氏(福井市)

堂東昭子氏(大野市)

野田美智子氏(坂井市)

堀江俊子氏(永平寺町)

五十音順

#### 団体

越前町男女共同参画

ネットワーク(越前町)



とくに、たくさんの作品に今年度も出展されることが多いです。



12月に開催されるあわら男女共同参画のつどいでは、男女共同参画をテーマとした図画や感謝状の募集作品の表彰を行っており、作品づくりを通して、男女共同参画社会のあり方を考えていたこうというものです。毎回、女(ひと)と男(ひと)との思いやりを大切にした心温まる作品が多く、たくさん

の作品に今年度も出展されることが多いです。また、年間を通して主な事業は「会員のつどい」「リーダー研修会」「体育祭・バレー大会」「新年のつどい」年一回の「県連婦会報」の発行など、会員が集まる事業を大切にしています。

各市町の婦人会と県連婦との絆をより深くし、明日への継続の為更なる活動に励んであります。

当ネットワークは14の団体で構成され、お互いの活動を尊重しながら連携し、明るいまちづくりに寄与するとともに、男女共同参画社会の形成を推進することを目的に活動しています。主な活動事業として、あわら男女共同参画のつどい、広報紙の発行、他のネットワークとの交流・研修などです。

当会は地域と共に歩んできた66年であります。本年度の目標として、次の5項目を掲げ、地域の絆の再確認となる様、会員一丸となり地道に事業の展開をしています。



**「ここいろを開かれたきっかけは?**  
気心の知れた仲間たち6人がいたこと、田舎暮らしをすすめる空き家の有効利用を考えたことから始め、今ではギャラリー兼カフェからランチやパッチャワーク、やきものへと広がっています。(代表・山内美栄子さん)

**「ここいろで働く今の気持ちは?**  
毎日いろいろな人の出会いが楽しく、自分の宝物。(武田敬子さん)

私の家族がここへ来てくれるのが嬉しくて、生きがいになっている。(松宮春美さん)

ここに来ると落ち着いて刺激もあって、新しい事を学べ嬉しい。(下島通代さん)

第2の人生をエンジョイ。(宮本洋子さん)

出会いが何より楽しみ。(杉井とみのさん)

**「ここいろの今後は?**  
ほつとできる空間、もう一度行ってみたい店にしたい。500円のランチには思いがいっぽいつまており、今後も里山の味(なつかしい安心できる味)を求めていきたい。



発行者

(公財)ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1  
福井県生活学習館(ユー・アイふくい)2階  
TEL:0776-41-4254 FAX:0776-41-4260  
E-mail:下記のとおり URL:<http://www.f-jhosei.or.jp>

お知らせ

9月から E-mail のアドレスが変わります。

[fujho-zai@iaa.itkeeper.ne.jp](mailto:fujho-zai@iaa.itkeeper.ne.jp)

## 編集後記

暑い夏に熱くなったロンドン五輪。なかでも日本選手の、誰かのために頑張った、チームみんなで勝利できた等の言葉が心に残る。

人は他人のために行動するとき最高に輝く。ふくいきらめきフェスティバル2012でいただいたパワーを活かし共にもっと輝こう!

いきいき ウーマンたち  
里山カフェ&クラフトギャラリー  
「ここいろ」を訪ねて



## あわら市男女共同参画ネットワーク

## 福井県連合婦人会

会長 関 秀親

会長 田村 洋子

国道27号から入った若狭町末野地区(安賀里)の山沿いに、還暦を迎えたことをきっかけに、仲間6人で何か新しいことをやりたい、無理せず楽しんでいきたいと、民家を改装したつくりで田舎暮らしの雰囲気が漂うお店を開いた方たちを紹介します。